

1 スクール・ミッションやスクール・ポリシーの策定状況

(1) 本県では令和5年度に、現在検討中の「令和新時代の本県高等学校教育の在り方について」の基本方針を策定する計画。また現行の県教育振興基本計画の最終年度が令和5年度でもあり、次期基本計画の策定に入ることから、スクール・ミッションの再定義に関しては、このタイミングに合わせて策定する予定。

なお、スクール・ポリシーに関しては各学校において本年度から学校運営協議会等を活用しながら策定を進めることとし、令和5年度中の公表を目指している。

(2) 普通科高校の新学科に関しては、学校の魅力化・特色化などの必要性等に応じて各校との協議の上、随時、学科改編を検討していく。

2 高等学校の特色化・魅力化に向けた方策等

(1) 県立高等学校重点校制度の実施

各高等学校が重点的に取り組むべき項目を県教育委員会が指定（重点校指定）し、予算を厚く配分する等の支援をすることで、全高等学校の特色化・魅力化をよ推進。

(2) 県立高校魅力化推進事業

中山間地の高校を対象に、令和元年度から実施。令和2年度からは、高校魅力化の専門家の支援を得ながら、高校、県教委、地元自治体や地域住民による検討チームを結成し、高校の魅力化策を検討し、その結果をもとに、実践に必要な機器等の環境整備を行っている。

(初年度：魅力化策の検討、次年度：魅力策実現のための予算措置、次々年度：魅力策の実践)

【取組例】

農業高校におけるスマート農業の導入、調理師養成施設の無い地区での食（調理、製菓）をテーマとした類型への変更、eスポーツ（ゲーム機を使った使用したスポーツ競技でカーレースや太鼓を叩く音楽ゲーム）を介護に取り入れた科目の創設、地域の素材である遺跡を活用した発掘体験や専門家の講義など考古学に係る科目の創設など。

(3) 県内外に向けた魅力化の情報発信

人気FMラジオ番組を活用し、番組動画サイトでパーソナリティがオンライン学校訪問（生徒インタビュー等）をする映像を流したり、各校の高校生がシナリオから作成した20秒の自校PRのラジオCMを番組間に放送。

また、「鳥取ふるさと留学」と題したポータルサイトの設置やSNS（インスタグラム、フェイスブック、ツイッター）での情報発信を実施。

(4) 国際バカロレア教育の導入検討

県立倉吉東高校への国際バカロレア教育の導入に向けた認定手続きを進めている。

令和2年度は国際バカロレア候補校の認定を受けるとともに、認定に必要なカリキュラムや施設整備の検討を進め、令和3年度は年度内の認定申請を目指している。